

山里の森を守る体感ツアー

12月10日・11日 下名野川で仁淀川町池川自然学園主催の「山里の森を守る体感ツアー」が開催され、高知市から四家族十二人が参加しました。

ている杉の伐採も体験してもらいました。

その後一行は、大野光弘さん（向）の炭焼き窯を見学しました。炭作りの解説をしていただいた後、実際に窯入れも体験し、子どもたちは競い合うように原料の間伐材を窯へ運んでいました。

親子で間伐・野外体験

森の再生へ



ドキドキ。初めてのチェーンソー

参加者らは、二ノ滝の左京憲昌さんにチェーンソーの安全な使い方の指導を受けた後、親子で丸太切り体験をしました。代表のお父さん二人には、実際に育成し

炭作りを学び、食事や風呂にまきを使うことで「森の再生」「木を生かす」という意味を肌で感じることができ、意義ある体験となりました。

心あったかクリスマスコンサート

12月18日 仁淀多目的研修集会施設で仁淀川町教育委員会主催の「クリスマスコンサート」が開催され、会場には親子連れら約120人が集まりました。

当日は、町でもおなじみとなった「高知マンドリン土曜日会」と仁淀川町ALTのジョン・ボルトンさんや町内外の教職員らで結成するバンド「From SCRATCH（フロム スクラッチ）」の2組が出演しました。

「高知マンドリン土曜日会」は“誰もが聞いたことのある曲”をと「クリスマスメドレー」「赤穂浪士のテーマ曲」「江～姫たちの戦国～ メインテーマ」など、バラエティーに富んだ曲を演奏し、会場からは自然と拍手が起きていました。



高知マンドリン土曜日会の演奏に聞き入る観客



会場を沸かせたFrom SCRATCH

今回がクリスマスコンサート初参加の「From SCRATCH」は「ハローグッドバイ」「スタンド バイミー」など、オールディーズの名曲を披露しました。喜納昌吉の名曲「花～すべての人の心に花を～」では、ジョンさんがボーカルを担当し、流ちょうな日本語で歌い上げ、会場を沸かせました。

観客らも一緒に口ずさみ、寒さを吹き飛ばす心温まる1日となりました。



100歳おめでとうございます

12月20日 この日、久喜の西森糸子さん（明治44年生まれ）が百歳の誕生日を迎えられ、大石町長から長寿祝いが贈られました。

西森さんは自宅で一人暮らしをしています。1日1回はヘルパーさんが来て食事や掃除を手伝いますが、3食のうち2食は自分で炊事をしています。天気が良く暖かい日には、自分で洗濯もするというので驚きです。

30代半ばまで、海軍少佐だったご主人と一緒に、佐世保（長崎県）や霞ヶ浦（茨城県）など全国各地に移り住んだそうです。元々手先が器用だったので、終戦後、洋裁の先生をして生計を助けてました。

久喜の西森糸子さん

西森さんは徳島県日和佐町（現在は美波町）出身で、今でも子どものころ楽しみだった薬王寺のお祭りのにぎやかさを思い出すそうです。

言葉もはきはきしていて、食べ物は何でもおいしく食べるという西森さんに、逆に若さと元気を分けていただきました。



笑顔が素敵な西森さん。自宅にて町長と記念撮影

みんな交代でおもちつき



12月25日 田村集会所で「もちつき」が行われ、近くに住む親子連れや榎大一林組の社員ら約四十人が参加しました。

この日のもち米は、榎大一林組が地域貢献の一環として寄付したもので、もちつきは今年で二回目の開催です。

子どもたちは地域住民の手ほどきを受けながら、もちつきや、あんこを入れて丸める作業を楽しく行いました。

その後、参加者はつきたての「きねつきもち」を堪能しました。また、谷内幸藏区長らの案内で、子どもたちが近所に住む高齢者へ「僕らがついたき食べてね」と、おもちを配って回りました。

外は雪の舞う寒さでしたが、参加者らにとって楽しく思い出に残る一日となりました。



たくさん親子が参加しました

田村の年末もちつきに親子連れら40人

大崎・どんど焼きについて

日時：2月12日（日）14時から

場所：長生教本院神社境内（大崎小学校体育館の上）

※雨天強風の時は中止します



爽やかな1年の幕開け

吾川地区



池川地区



仁淀地区（森）



仁淀地区（長者）



スポーツ始めに100人

1月2日 新春恒例のスポーツ始めが、吾川、池川、仁淀（森、長者）の4カ所で行われ、約100人が参加しました。

当日は穏やかな晴天に恵まれ、参加者たちはお互いに新年のあいさつを交わした後、ジョギングとウォーキングで楽しく汗を流しました。

日ごろからスポーツに親しんでいる参加者が多く見られましたが、少し運動不足の参加者にとっても、爽やかな新年の幕開けとなりました。

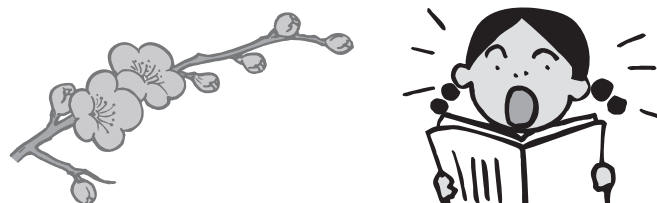


歌や踊りで観客魅了

新春告げる芸能大会に300人

1月8日 池川コミュニティセンターで池川文化協会主催の「第二十九回池川芸能大会」が開催され、約三百人の観客が会場を埋め尽くしました。

当日は地元中学生による琴の演奏と池川神楽、小学生の朗読発表、保育園児の歌とダンス、民謡、コーラス（池川混声合唱団）など、出演した各団体がそれぞれ練習の成果を披露し、新春のイベントを盛り上げました。



池川中学校 琴で「さくら」を演奏

